

雨水貯留タンク等の設置補助

概要

市では、大雨時の浸水対策および、雨水の利活用の一環として、雨水貯留タンク等の設置費用の一部を補助しています。



申請期間 令和7年11月28日(金)まで

— 雨水貯留タンクを設置した場合のメリット —

大雨時の浸水対策

側溝に流れ込む雨水の量を減らし、浸水被害の防止・軽減に役立ちます。



雨水の利活用

ガーデニングや、家庭菜園の水やりに、利活用できます。



災害のときにも安心

水道が断水した時に、トイレ用の水などとして利活用できます。



補助の内容等、詳細はこちら▲

河川の草刈り・土のう袋等の配布

除草機械の貸出し

河川等公共施設の環境美化活動を推進することを目的に、次の除草機械(草刈機)の貸し出しをしています。

- ・ 肩掛け式草刈機
- ・ バリカン式草刈機
- ・ 手押式草刈機
- ・ 自走式(リモコン式)草刈機



詳細はこちら▲

河川の除草ボランティア募集

新川・宮川において、ボランティアとして地域の活動にご協力いただける方を募集しています。



詳細はこちら▲

土のう袋等の配布

希望する方に次のとおり、土のう袋及び土のう袋に入れる土砂を提供しています。

期間 令和7年11月28日(金)まで
(平日8:30~17:15)

場所 ①土のう袋
⇒ 土木政策課河川政策担当、各支所

②土砂の提供
⇒ 夏井川河川防災ステーション、小名浜、勿来、常磐、四倉

内容 1世帯当たり20袋まで
(土のうづくりは各自でお願いします。)



詳細はこちら▶

(次項へ続く)

NPO法人いわき環境研究室の取組

いわき環境研究室の概要

当NPO法人は、いわき地域の環境の質向上のため、①地域環境の調査研究、②環境教育、③環境改善活動を通して、持続可能な地域づくりに寄与することを目的に、**2007年12月に設立**し、現在、正会員13名、特別会員5団体で活動している団体です。



いわき環境研究室

活動内容

児童を対象とした小学校や地域子供会向けの環境学習支援活動では、**野外での調査や実験模型を使用した活動を通じて、利水や親水的な側面(水環境や景観、生物多様性)や治水的な側面(水防災)から川の環境問題を理解して考え、環境を守る行動につなげることができる人材の育成**を進めています。

小中学校・地域における学習支援例

実施先	対象	テーマ
好間一小	5年生、70名	「好間川の水生生物・水質調査」
好間四小	1-6年生、24名	「好間川源流から河口までをたどる」
	3-6年生、21名	「好間川の水生生物・水質調査」
	5,6年生、12名	「川と私たちの生活とかかわりを考える」
平四小	6年生、52名	「気候変動への対応について考える」
	6年生、52名	「エネルギー利用を考える」
	6年生、52名	「水害と防災を学ぶ」
磐崎小	5年生、94名	「藤原川の水生生物・水質調査」
内郷三中	1年生、9名	「校内のクールスポットを探そう」
下小川地区	児童・他、8名	「農業用排水路の水環境・水生生物調査」
赤沼地区	児童・他、9名	「農業用排水路の水環境・水生生物調査」

流域治水と水防災学習

水防災学習では地球温暖化問題、川や流域のしくみなどについて理解してもらうとともに**流域全体で川の水害に対応する流域治水について、流域ジオラマなどの模型を用いた体験的な学習を実施**しています。



水災害の全体説明



ジオラマを使って水災害の説明



森の保水力の実験



森の保水力の実験による体験



河川各部の名称を模型で説明



水災害時の対応方法の説明

平四小の水防災学習



流域ジオラマ模型

学習プログラムや教材の開発などにも取り組んでいます。

次号の内容(予定)

- ・立地適正化計画の改正について
- ・浸水センサの設置について
- ・夏井川流域住民による川づくり連絡会の取組について

お問い合わせ先

いわき市 土木部土木政策課河川政策担当

Tel : 0246-22-7492